荘内中：未来の人材育成方針の全体像

Society5.0時代の人材育成を実現する中学校における人材育成プログラムの構築は重要な学校改革の観点である。学活や道徳、総合的な学習の時間での取組は勿論、教育活動全体で総合的に創造すべき教育活動であるため、令和5年度からのENAGEED社提供教材の活用も含め、スキームを構築している。

学校を小さな社会として生徒会会員としての参画意識を醸成（国民としての意識醸成）

生徒会組織の活用
・行政組織としての取組を意識して実践（委員会活動、予算委員会等）
・各組織の予算編成活動の充実による現実的な金銭感覚の醸成

「学プロ」活動の充実
・地域の自治会組織、NPO法人等の位置づけを意識して活動推進
・ボランティア意識の向上

学級組織と連動

各種行事実行委員会の充実
・地域の自治会組織、NPO法人等の位置づけを意識して活動推進
・学校学年行事を自分事として捉えて積極的に参画する＝社会参画

生徒自治活動の運営
・朝の自治活動時間等の運営による参画意識の向上、就労活動能力育成
・生徒会員規則遵守の指導充実による法遵守意識の育成（ルールメイキング等）

生徒会会員としての学校教育活動への参画意識、会員が決めたルールを会員として守る意識の醸成

社会構造を意識させ社会の構成員としての望ましい資質能力を育成

未来社会の担い手としての望ましい資質能力を育成

SHONAIみらい学（キャリア教育）の徹底充実

学活や道徳、総合的な学習の時間でのカリキュラムマネジメントの充実で、次世代型人材育成教育を推進

SDGs探究学習の3年間指導計画の徹底（各アウトプット活動の充実）

キャリア探究学習の3年間指導計画の徹底（ENAGEED社提供教材活用や進路指導等の取組推進）

金融教育や貧困教育、選挙権教育等の充実

各種「トレ」活動の徹底（こみゅトレ、まなトレ、ねっトレの取組内容の充実）

カリキュラムマネジメントの充実で効果的な人材育成教育を具現化

Googleアプリ等を活用し、「委ねる」活動を通して自走する生徒組織を目指す。
ChatやClassroomでの会議や支援、指示

ウェルビーイングを求めながら幸せに生きていく人間力の育成

予測困難な時代に自己肯定感を高めながら自分自身の幸福を追求するとともに、他者の幸福や社会全体の幸福を望み、価値ある生き方を追求していく力を学校教育全体で育成

考え、議論する道徳の時間の充実による道徳的価値観の育成

PBIS：ポジティブな行動介入と支援による生徒指導を徹底し、自己肯定感を醸成

・適切な行動について考えさせる生徒指導の徹底　・グッドビヘイビアーカード等で「ほめて育てる」指導の徹底



学校生活における学習や活動に生成AIを適切に活用し、未来で必要な情報活用能力を育成

教育課程等のあらゆる場面でフォーサイトを活用し自己調整力の育成